

きずな

小牧市民病院の理念

- 1 安全で質の高い急性期医療を行います
- 2 恕(じょ)の心で患者さんに寄り添う病院を目指します
- 3 医療を通じて、安心して暮らせる地域の実現に貢献します



キミと一緒に、育っていききたい。
Komaki

特集 病院機能評価の認定を取得しました

【健康教室】 腹部大動脈瘤の治療

【各科だより】 放射線治療科 放射線治療室

【職場紹介】 診療情報管理係

【意見箱から】 整形外科と眼科の待合の長イスについて

お知らせ

- 病院案内図
- 外来案内

過去の「きずな」はコチラ



病院機能評価の認定を取得しました

病院機能評価とは

このたび、小牧市民病院は、公益財団法人日本医療機能評価機構による「病院機能評価」の認定をいただきました。病院機能評価とは、病院機能評価機構の中立・公平な専門調査チームによる第三者の立場から、診療の質や安全管理、感染対策、情報共有の仕組み、患者さんへの説明のわかりやすさ、災害時の対応、病院全体の管理・運営体制など、多岐にわたる項目について審査を受け、「一定の基準を満たしている」と認められた病院が認定されるものです。この認定は、病院の理念である「恕」の心をもって患者さんに寄り添う病院の証であり、患者さんにとって「安心して医療を受けられる病院」であるという信頼の証でもあります。日々の診療や業務において積み重ねてきた努力が形となり、こうして評価をいただけたことは、私たち職員にとって本当にうれしく、誇らしい出来事です。

取得のための準備

病院機能評価を受審するにあたって、医師や看護師はもちろん、薬剤師、診療技術スタッフ、事務スタッフ、給食や清掃、設備管理のスタッフに至るまで、すべての職員が「患者さんが安心できるより良い医療を提供したい」との思いのもと、「自分たちの役割とは何か?」「このやり方で本当に良いのか?」「カイゼンすべき点はないか?」「患者さんの目線に立てているか?」と日々職種を越えて話し合い、見直しを重ねて得た結果であるとともに、当院を信頼して通ってくださる患者さんのおかげです。診療中の何気ない会話や「ありがとう」のひと言、時には厳しいご指摘も、私たちにとっては大切な学びであり、成長のきっかけです。患者さんやご家族の笑顔、治療の成果と一緒に喜べる瞬間は、私たちにとって何よりの励みです。この場を借りて、心から感謝申し上げます。



これからの病院

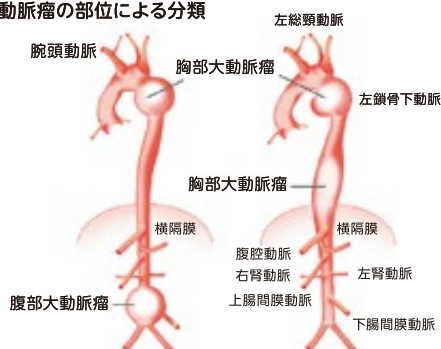
病院機能評価の認定は今回で6回目となりますが、これはゴールではなく、新たなスタートです。医療は日々進歩し、患者さんのニーズも変わっていきます。これからも安全で質の高い医療を提供し続けるためには、継続的なカイゼンと学びは欠かせません。常に患者さんの立場に立ち、患者さんの声に耳を傾け、わかりやすい説明、丁寧な対応、より安全で質の高い医療の提供に努めてまいります。そして、地域住民の皆様が求める医療体制を念頭に地域の医療機関との役割分担・連携を率先して調整・推進し、皆さんに「小牧市民病院なら安心」「小牧市民病院で良かった」と思っただけの病院であり続けるために、職員一同努力を続けてまいります。今後とも小牧市民病院をよろしくお願いいたします。



腹部大動脈瘤とは?

大動脈瘤とは、体の中で一番大きな血管である大動脈が正常の太さの1.5倍以上に瘤（コブ）状に膨らんだものです。腹部大動脈の場合は正常な太さが約2cmであるため3cm以上に膨らんだ場合に「腹部大動脈瘤」ということになります。

大動脈瘤の部位による分類



(日本ステントグラフト実施基準管理委員会より)

原因は?

原因の90%以上は動脈硬化とされています。このため、加齢、喫煙、高血圧、糖尿病、脂質異常症、肥満が危険因子となります。

症状は?

多くの場合無症状で進行するため、検査などで偶然発見されることも少なくありません。拡大すると破裂する危険があり、破裂直前や破裂してしまった場合に、激しい痛みや出血性のショックが引き起こされます。

検査・診断は?

腹部大動脈瘤の診断として腹部超音波検査は簡単で痛みもなく有用な検査です。

大動脈瘤が確認された場合、今後の方針を決めるために、CT検査を実施して動脈瘤の大きさ、拡大範囲や形状、そして動脈壁の性状を確認します。

治療方法は?

大動脈瘤の大きさや形状によって方針が変わります。

1. 小さい場合（4.5cm未満）→ 経過観察

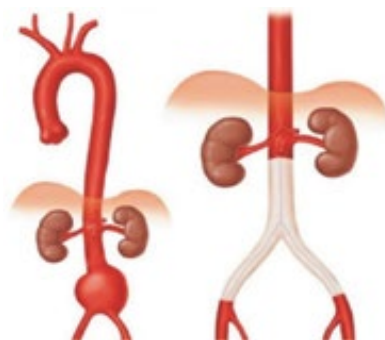
定期的な画像検査と、血圧管理、禁煙、ダイエットなどの生活改善を行います。

2. 大きい場合（4.5～5.0cm以上）→ 手術治療

4.5～5.0cm以上で破裂危険が高くなります。破裂すると高い確率で生命が奪われてしまいます。破裂した動脈瘤は、手術以外に命を救う方法がないため緊急手術を行います。その成績は良くありません。そのため、瘤が破裂する前に外科的な治療を行う必要があります。破裂する前に手術を行った場合の手術成績は良好です。手術には開腹人工血管置換術とステントグラフト内挿術があります。

①開腹人工血管置換術：

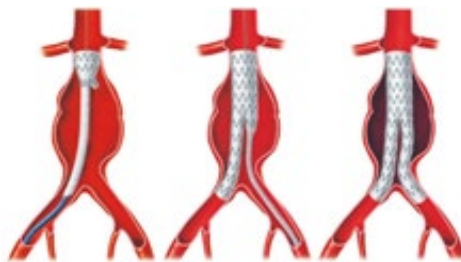
- ・全身麻酔を行い、お腹の真ん中を切って大動脈瘤を人工血管に置き換えます。
- ・基本の治療法として以前より行われており、長期的に安定した成績が得られています。
- ・体への負担はやや大きくなります。



(インフォームドコンセントのための心臓・血管病アトラスより)

②ステントグラフト内挿術：

- ・多くは局所麻酔で、カテーテルで大動脈瘤内に人工血管を入れて破裂を防ぎます。
- ・体への負担が少ないため、早期の回復が見込めます。
- ・遠隔期の瘤拡大・破裂や、臀部や腹部臓器の血流低下などの、今後改善すべき点も指摘されています。



(インフォームドコンセントのための心臓・血管病アトラスより)

どちらの治療法にも一長一短があるため、一人一人のお身体に合わせて治療方針を決めることが重要です。

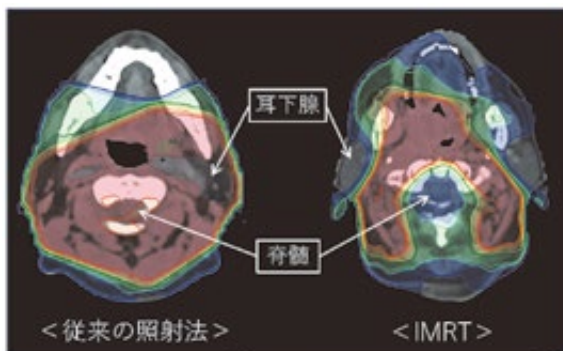
放射線治療とは？

放射線治療はがんに対して放射線を当てがん細胞を壊す治療で、手術・化学療法と並ぶがんに対する治療法の3本柱の1つです。臓器の機能と形態の温存を可能とする優れた治療です。近年広く行われるようになった強度放射線治療（IMRT）は、より体に優しい放射線治療の手法です。当院では2022年からIMRTを実施しています。

強度放射線治療(IMRT)とは？

従来の放射線治療では、がんのある部位だけでなく、その周囲の正常な組織にも一定量の放射線が当たってしまうことがありました。IMRTでは放射線の強さや形を細かく調整することで、がんの高い線量の放射線を当てながら、周囲の正常な臓器への放射線量を減らすことができます。これにより、治療の効果を保ちつつ副作用の軽減が期待できます。

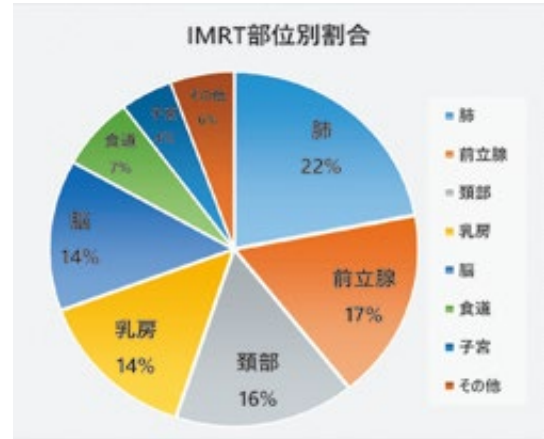
例えば頸部（首の周囲）のがんでは、唾液腺、脊髄、飲み込みに関わる筋肉などの重要な器官が密集した部位に放射線を当てることになります。頸部のIMRTでは、これらの器官をできるだけ守りながら、がんを集中的に治療することが可能です（下図参照）。



脊髄・耳下腺：線量 ⑧ 脊髄・耳下腺：線量 ④

そのため、治療中や治療後の口の乾きや味覚低下、飲み込みにくさなどの副作用を低減できるようになりました。また、正常な肺や心臓を守りながら腫瘍部に高い線量の放射線を当てることにより、治療後の呼吸や心機能を良い状態で保持できるようにしています。

その他にも様々な部位でIMRTを行っており、IMRTの治療件数は年々増加しています（下図参照）。



放射線治療を受けるにあたって

放射線治療は痛みがなく1回あたり15分程度で治療を行うことができます。ただし、治療中は15分程度、同じ姿勢を保つ必要がありますので、痛みなどで体位保持に不安がある場合は診察時にご相談ください。詳細についてはホームページ上にも掲載しています。



当院放射線治療装置 Varian社 TrueBeam

診療情報管理係って、どんな仕事？

皆さんが病院を受診されたとき、医師や看護師等の医療従事者が記録する「カルテなどの診療記録」。この大切な記録を安全に管理し、必要なときにすぐ使えるようにするのが、私たち診療情報管理係の仕事です。

診療情報管理係は「診療情報管理士」という専門の資格を持った職員を中心に構成されており、専門職としての高い知識とスキルをもって患者さんの診療情報を守り、小牧市民病院の医療の質と安全を支えています。

主な業務内容

1. 電子カルテの管理と診療記録の整備

現在、当院では電子カルテシステムを導入しており、診療の記録はデジタルで管理されています。私たちは、電子カルテが適切に記録・保存されているかを確認し、正確に登録されているかをチェックしています。また、過去の紙カルテについても法律で定められた期間、適切に保管・管理しています。

2. 診療情報のチェック

カルテの記載内容が正確か、必要な情報が欠けていないかを確認し、医療の質を保つ手伝いをしています。

3. 病名のコード化とDPC制度

カルテに記載された病名を、国際的な分類基準(ICD-10)に基づいてコード化しています。また、診断群分類(DPC)のルールに従って医療資源病名等をチェックし、適正な入院医療費の請求を実現しています。

4. カルテの開示対応

患者さんご本人やご家族から「自分のカルテを見たい」「コピーがほしい」というご要望があった場合、適切な手続きを経て開示を行います。

5. 医療統計とデータ分析

病院全体の診療実績や疾患の傾向を分析し、病院運営や医療の改善に役立つ資料を作成しています。

6. がん登録

私たちはがん診断・治療の記録を国のデータベースへ正確に登録しています。この情報は全国の生存率調査や最新の治療研究に役立てられます。

7. 各種学会のデータ登録

データマネージャーとして外科系、整形外科系、脳神経外科系、泌尿器科系、心臓血管外科系、外傷系の診療データ登録を医師とともにしています。

カルテの開示について

「自分のカルテが欲しいのですが…」

はい、提供できます。患者さんには、ご自身の診療情報を知る権利があります。

申請できる方

原則として患者さんご本人です。ご本人が申請できない場合は、配偶者や2親等以内のご家族（お子さん、ご両親、ご兄弟など）も申請できます。

必要なもの

診療情報提供申請書

（病院ホームページからダウンロード可能）

本人確認書類（運転免許証、資格確認書など2種類）

※患者さんと申請される方の関係により必要書類が変わります。詳しくはお問い合わせください。

開示の申請方法

窓口：患者支援センター

（医療の質・安全管理室へ取次ぎ）

受付時間：平日 午前8時30分～午後5時15分

お問い合わせ：0568-76-4131（代表）

私たちの想い

診療情報管理係は、直接患者さんと接する機会は少ないですが、正確な情報管理を通じて、安全・安心な医療を支えるという使命を持って日々業務に取り組んでいます。

カルテは患者さんの大切な記録であり、医療チーム全体で共有する重要な情報です。私たちはその情報を守り、活かし、必要なときには患者さんにお返しする「情報の橋渡し役」として、これからも皆さんの医療を支えてまいります。

ご不明な点やカルテ開示のご相談がございましたら、お気軽に患者支援センターまでお声がけください。

当院では、意見箱を設置し、来院者の方からのご意見、ご要望に対してできる限りお応えできるよう努めています。ここでは、お寄せいただいたご意見、ご要望の一部を紹介させていただきます。

《いただいたご意見》

整形外科と眼科の待合の長イスの間を空けていただくと、中の方に
入りやすいと思います。中央のイスに入りにくいです。



《ご意見に対するお応え》

この度は貴重なご意見をいただきありがとうございます。

いただいたご意見を参考に、整形外科と眼科の外待合のスペースを考慮しつつ、長椅子との間を
空けて中央の椅子にも入りやすくさせていただきました。今後も院内の環境整備に努めてまいります。



市民病院案内図

病院ホームページ
交通アクセス



■有料駐車場料金

1時間まで無料

1時間を超え8時間まで100円

8時間を超え24時間まで1,000円

以降24時間を超えるまでごとに1,000円加算



外来案内

■診療受付時間

午前8時30分～午前11時30分

■診療時間

午前9時～午後5時

■休診日

土曜・日曜・祝日・年末年始

※休診日でも急患の方は、
救命救急センターで随時診療

